《審判上の確認事項》

（第４３回全日本バレーボール小学生大会（２０２３年度）沖縄県大会）

沖縄県小学生バレーボール連盟　審判委員会

２０２３年度公益財団法人日本バレーボール協会６人制競技規則により実施する。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。また、本大会はテクニカルタイムアウトを採用する。第１セットおよび第２セットでは、リードするチームが１１点目に達したとき、第３セットは、リードするチームが８点目に達したときにセカンドレフェリーのホイッスルにより３０秒間のテクニカルタイムアウト（健康管理の為のタイムアウト）が適用される。
第３セットのテクニカルタイムアウトは、コートチェンジでファーストレフェリー側の支柱外側を回ってきたチームの最後尾の選手がセカンドレフェリー側のサイドラインを通過した時点から３０秒を計時する。

（１）トスは、両チームのチームキャプテンが立ち会いのもとに行う。

（２）子どもたちの善い行いに対してはフェアプレー精神の育成のため、積極的にグリーンカードを出して下さい。
※競技参加者は、他の役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆に対しても、フェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動しなければならない。

（３）監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置でベンチに座り、ラリー中はベンチに座っていなければならない。ラリー終了後、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で指示を出すことができるが、みだりに監督が立ち上がったりする行為を許容するものではない。過度に目的を逸脱した行為に対しては、競技規則（第２１条不法な行為とその罰則）により適切に処置する。

（４）テクニカルタイムアウトは、選手及びスタッフ（小学生）の健康管理の為のタイムアウトである。選手は、ベンチの外側の端に位置する。（この時選手はベンチに着席してもよい。）ベンチスタッフ（大人）は、選手及びスタッフ（小学生）全員が給水できるように準備する。給水を行うか否かの判断は選手本人の意思による。ベンチスタッフが選手に話しかけるときは、ベンチスタッフ自身が規定の位置に移動する。
※ベンチスタッフは健康観察を行い、不調が疑われる選手には直ちに対応する。レフェリーは必要に応じて疑われる選手の体調についてベンチスタッフに質問する事ができ、不調が疑われる選手への対応を指示することができる。ベンチスタッフは、選手の体調について質問があった場合は、正確に回答できるように準備しておく。

（５）タイムアウトの要求には必ずハンドシグナルを用いること。また、選手交代については、交代選手がサブスティチューションゾーンに入り、速やかに交代を行うこと。
※選手交代は小学生の特性なども考慮し、レフェリーはチームの意向になるべく沿うようにする。（選手が誰と交代するのか理解していない場合はセカンドレフェリーが監督に尋ねたりサブスティチューションゾーン（選手交代ゾーン）手前で立ち止まったらゾーンに入るように促したりするなど。）

（６）プレー中でない選手はベンチ横に座っているか、チームのウォームアップエリアにいなければならない。（会場によって場所の確認をすること）

（７）試合中のレフェリーに対する質問は、ゲームキャプテンのみ行うことができる。監督は認められない。

（８）不法な行為（反スポーツマン的行為や言動）に対しては厳正に処置する。（退場・失格）

（9）試合中コートが濡れた場合は、コート内の選手がタオル等を用いて、ラリー終了後速やかに拭くこと。※各チームで十分な枚数のワイピング用タオルを準備すること。
コート外まで幅広く濡れた場合は、レフェリーが判断して指示するので、その指示に従い対応すること。尚、柄付きモップの使用は、タイムアウト・セット間、もしくはレフェリーが指示したときのみである。この場合は、ベンチにいる競技参加者が速やかに行うこと。（選手やベンチスタッフが、レフェリーに対してワイピングの要求をすることは、遅延行為の対象となることがある。）

（10）可能な限り各会場にコントローラーを配置するので、試合前の打ち合わせや確認を綿密に行ってください。試合中、ファーストレフェリーの決定は最終である。（ファーストレフェリーの判断で判定や取り扱い等の疑義等について、コントローラー・副審判長・審判長の意見を聞く事ができる。）

（11）レフェリーを行う際はレフェリーウェアを着用しなければならない。各チームでレフェリー（1st・2nd）、コートオフィシャルができること。

（12）感染症関連

① レフェリー（ファーストレフェリー・セカンドレフェリー）・スコアラー・ラインジャッジ・コートオフィシャルのマスク着用は任意とします。試合終了後、レフェリースタンド・スコアラーズテーブル・得点掲示椅子・ラインジャッジフラッグを消毒し拭き取り、手指の消毒を行うこと。

② レフェリーのホイッスルは、マスク（不織布マスクを推進）の中で吹笛する。（任意とします。）各自で除菌シート等を活用し試合終了後にホイッスルの洗浄、消毒に努めること。（ホイッスルカバーも可　任意とする）※電子ホイッスルの使用は不可とする。

③試合開始・終了時の両チームの挨拶については、アタックラインまで来て拍手・礼の流れで取り組む。